

# CA Performance Center

リリースノート

2.4



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複製することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、  
(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

## CA Technologies 製品リファレンス

このドキュメントでは、以下の CA Technologies 製品および機能に言及します。

- CA Performance Center
- CA Infrastructure Management Data Aggregator
- CA NetQoS® Performance Center
- CA Single Sign-On
- CA Network Flow Analysis
- CA Application Delivery Analysis
- CA Unified Communications Monitor
- CA eHealth
- CA Spectrum

## CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。



# 目次

---

<b>第 1 章: はじめに</b>	<b>7</b>
新機能と拡張機能.....	8
製品ドキュメント.....	12
サードパーティ ソフトウェア ライセンス契約.....	13
<b>第 2 章: 展開要件およびシステム要件</b>	<b>15</b>
展開オプション.....	15
システム要件.....	16
UTF-8 サポートの設定.....	18
バージョンの互換性.....	20
サポートされるデータ ソース インスタンスの最大数.....	22
言語サポート.....	23
<b>第 3 章: アップグレード要件および考慮事項</b>	<b>25</b>
サポートされているアップグレードパス.....	25



# 第 1 章: はじめに

---

CA Performance Center をご利用いただき、誠にありがとうございます。CA Performance Center ソフトウェアをインストールする前に、「リリースノート」を確認してください。

このドキュメントには、以下をはじめとする、重要な情報およびインストールに関する注意事項が含まれています。

- 利用可能な製品マニュアル
- オペレーティング システムのサポート
- システム要件
- バージョンの互換性

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[新機能と拡張機能](#) (P. 8)

[製品ドキュメント](#) (P. 12)

[サードパーティソフトウェア ライセンス契約](#) (P. 13)

## 新機能と拡張機能

CA Performance Center 2.4 および Data Aggregator 2.4 に以下の機能が追加されました。

注: 新機能および拡張機能の完全なリストについては、「[GA Release Letter](#)」を参照してください。最新の変更については、製品の [Readme](#) ファイルを参照してください。

### 操作性の向上

#### ナビゲーションの強化

パンくずリストの機能拡張により、グループおよびサイトへのアクセス時間が短縮され、それによりナビゲーションが簡略化されます。現在選択されているグループへのフルパスが表示されるようになりました。ユーザは、サイトまたはグループをクリックすることで、ダッシュボードのコンテキストを変更できます。

#### サイトリストビューの機能拡張

サイトリストのビュー設定を編集する機能が使用できるようになりました。次の4つの選択肢が用意されています。

- すべてのサイト: 選択したグループ下のサイトをすべて表示します。
- 親サイト: 親レベルのすべてのサイトを表示します。
- ピアサイト: 選択されたサイトと同じレベルのすべてのサイトを表示します。
- 子サイト: 選択されたサイトの直接の子を表示します。

#### RAW 形式での CSV へのエクスポート

単位のない RAW 形式で CSV ファイルにエクスポートします。CSV ファイル内の列ヘッダに単位がリスト表示されるようになりました。

#### 非整数のスコアカードしきい値

スコアカードは、メトリック値を表示するときに、小数点以下をサポートするようになりました。ユーザはまた、スコアカードのビュー設定に 10 進数値を入力できます。

#### ビューから DA 管理ページへのドリル イン

DA に関連付けられたページから DA 管理者ページに直接アクセスします。この目的で、新しい役割権限「ビューから DA 管理ページへのドリルイン」が作成されています。

#### すべてのビューを残したままダッシュボードレイアウトの変更が可能

ユーザがダッシュボードのレイアウトを変更した場合、ビューは削除されませんが、その代わりに、新しいレイアウトの最初のペインに移動されます。ビューが新しいレイアウトに移動される時、ビューの編集内容はすべて保持されます。

#### コンポーネントレベルでのポーリングコントロールの強化

ポーリングフィルタ機能がすべてのメトリックファミリに適用されるようになりました。さらに、フィルタ式の作成をサポートするために、新しい UI が作成されました。入れ子の AND/OR/NOT 式など、論理を意味する式がサポートされています。

## ユーザ インターフェースの機能拡張

### コンテキストビューの固定

新しい [コンテキスト] ドロップダウンを使用して、ダッシュボード設定ダイアログ ボックスから特定のグループにダッシュボードを固定することができます。ビューが選択されたコンテキストに固定されているかどうか、またはビューがページ レベルのコンテキストに固定されているかどうか、ロック アイコンによって示されるようになりました。

### ブラウザビューの URL パラメータの設定

ブラウザ ビューを設定するときに、複数の URL パラメータを使用できるようになりました。URL パラメータでは、言語、解像度、およびその他のプロパティを設定できます。各 URL パラメータが意味のあるラベルとして機能するように、識別子を追加することもできます。

### グループ ツリーの拡張機能

ユーザがグループを切り替えると、グループ ツリー内で現在選択されているグループが強調表示されます。

### より高い解像度でのダッシュボード結果の表示

新しい役割権限である「より高い解像度でのダッシュボードの実行」により、ユーザはダッシュボードを表示する場合に、よりきめ細かに時間範囲を選択できます。この役割権限を持たないユーザは引き続き、CA Performance Center によって設定されたデフォルトの時間範囲に限定されます。

## レポート

### オン デマンド レポートへのアクセスのカスタマイズ

オン デマンド レポートの表示機能および管理機能へのアクセスを制限するために、次の 2 つの新しい役割権限を割り当てることができます。

### オンデマンドレポート テンプレートの作成

ユーザがオン デマンドのレポート テンプレートを作成、編集、削除できます。また、この役割権限によって、オン デマンド レポート テンプレートを表示できる人が特定されます。

### オンデマンドレポート テンプレートの実行

ユーザがオン デマンドのレポート テンプレートを実行できます。

## API

### Open API

設定情報およびメトリック データにアクセスするクエリを構築するための新しいパブリック API です。OpenAPI クエリ ビルダは OData 2.0 標準を使用して URL を生成します。これにより、指定した形式でカスタム メトリック データを表示できます。

## ベンダー認定

### 新しい XML 属性

2 つの新しい一般的な XML 属性がベンダー認定およびメトリック ファミリに対して作成されました。

- Version
- Author

### 認定移行ツール

Data Aggregator の新バージョンへのアップグレードにおいて、ユーザーは認定移行ツールを実行することが必要になりました。このツールはインストーラ パッケージに含まれています。認定移行ツールは、ベンダーおよび CAMM の認定とメトリック ファミリを適切なディレクトリに移動します。

### 認定インストーラ

ユーザは、REST クライアントを使用して認定をインポートすることに加えて、新しい認定インストーラを使用できるようになりました。インストーラでは、単一の認定または複数の認定のインストールと、特定のディレクトリに置かれた認定のインストールを行うことができます。Data Aggregator マシン上で認定インストーラを実行する必要はありません。このインストーラには Windows 版と Linux 版があります。両方で UI がサポートされています。コマンドラインは Linux 版で利用できます。

## 製品ドキュメント

CA は、すべての製品について技術マニュアル一式を提供します。CA Performance Center に利用できるガイドは、以下のとおりです。

- 管理者ガイド
- オペレータ ガイド
- インストール ガイド
- 管理対象サービス プロバイダ ガイド
- リリース ノート
- Single Sign-On ユーザ ガイド
- レポート情報ベース (RIB) API ガイド
- Web サービス API ガイド
- ユース ケース

Readme ファイルには、既知の問題と回避策の最新のリストが含まれています。[CA サポート オンライン](#)から最新バージョンの Readme ファイルおよびリリース ノートをダウンロードすることをお勧めします。

これらのガイドは、ドキュメント マニュアル選択メニューから PDF および HTML 形式で開くことができます。CA Performance Center ユーザ インターフェースの [ヘルプ] メニューから、マニュアル選択メニューにアクセスしてください。

[ヘルプ (?)] ボタンをクリックするか、または [ヘルプ] メニューから [このページのヘルプ] を選択すると、ページおよびビューに対応する状況依存のオンライン ヘルプを利用できます。

オンライン ヘルプ システムは、設定タスク、ユーザ インターフェースの移動、およびパフォーマンス データに関する詳細情報が必要な場合に使用します。

## サードパーティソフトウェアライセンス契約

CA Performance Center の作成にサードパーティソフトウェアが使用されました。すべてのサードパーティソフトウェアは、該当の使用許諾契約に規定されているとおりに、使用、複製、および配布に関する条件に従って使用されています。

サードパーティ使用許諾契約に関する情報は、CA Performance Center ソフトウェアと共に自動的にインストールされる以下のドキュメントに記載されています。

[インストールディレクトリ]  
¥PerformanceCenter¥ThirdPartyContent¥caim\_thirdpartycontent.txt



## 第 2 章：展開要件およびシステム要件

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[展開オプション](#) (P. 15)

[システム要件](#) (P. 16)

[バージョンの互換性](#) (P. 20)

[言語サポート](#) (P. 23)

### 展開オプション

CA Performance Center の展開には、ホスト データ ソースへの追加サーバが必要です。データ ソース システム要件は、かなりばらつきがあります。展開ガイドラインおよびシステム要件については、データ ソースのリリース ノートを参照してください。

CA は、異なる数の管理対象アイテムで 3 つの異なる展開シナリオの包括的なテストを実施しました。管理対象アイテムの数は、次のように、処理されるメトリック データの速度を表します。

- 毎秒 15,000 メトリック、100,000 管理対象アイテム（比較的小規模な展開）
- 毎秒 75,000 メトリック、500,000 管理対象アイテム（中規模の展開）
- 毎秒 150,000 メトリック、1,000,000 管理対象アイテム（大規模な展開）

このドキュメントに記載のシステム要件は、これらの 3 つの環境の異なる要件を反映しています。

## システム要件

CA Performance Center をインストールする専用サーバを準備します。サーバが展開規模に応じた要件を満たしていることを確認してください。

### すべての展開

ソフトウェアは、root ユーザが書き込みアクセス権を持つファイルシステムにインストールできます。通常は、/opt にインストールされます。

CA Performance Center をインストールするサーバで、SELinux (Security Enhanced Linux) が無効であることを確認します。デフォルトでは、一部の Linux ディストリビューションでこの機能が有効になっています。その場合、製品が正しく動作しません。

デフォルトでは、MySQL データベースが /opt/CA/MySQL/ にインストールされますが、別の場所を選択することもできます。選択したファイルシステムにデータベースをサポートするのに十分なディスク領域が割り当てられていることを確認してください。

サポートされる最小の画面解像度は 1280x1024 です。

DNS 解決と時刻の同期が必要です。詳細については「インストールガイド」を参照してください。

製品のユーザ インターフェイスにアクセスするクライアントには、Adobe® Flash® をインストールする必要があります。Adobe の Web サイトからダウンロードできます。

Web ブラウザは必須です。以下のブラウザアプリケーションがサポートされています。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 9、10、11
- Mozilla Firefox (最新バージョン)
- Google Chrome (最新バージョン)

## 仮想環境と SAN 環境

CA Support Online にあるドキュメント「CA Support Statement for Running CA Performance Management Products in Virtualization and SAN Environments」を参照してください。

[https://support.ca.com/phpdocs/7/5637/CA\\_Support\\_Statement\\_for\\_Running\\_CA\\_NVM\\_Products\\_in\\_Virtualization\\_Environments.pdf](https://support.ca.com/phpdocs/7/5637/CA_Support_Statement_for_Running_CA_NVM_Products_in_Virtualization_Environments.pdf)

このドキュメントでは、仮想サーバまたは Storage Array Networks (SAN) への Performance Management 製品のインストールおよび操作に関する CA ポリシーを説明しています。CA Support Online でドキュメントを表示するには、登録ユーザとしてログインする必要があります。

## 毎秒 15,000 メトリック(比較的小規模な展開)

設定またはコンポーネント	説明
オペレーティング システム	Red Hat Enterprise Linux 5.x for x64 Red Hat Enterprise Linux 6.x for x64
プロセッサ	専用の仮想 CPU 4 つ
プロセッサの速度	2.0 GHz
メモリ (RAM)	16 GB
ディスク容量	56 GB
ディスク入出力	100 メガバイト/秒

## 毎秒 75,000 メトリック(中規模の展開)

設定またはコンポーネント	説明
オペレーティング システム	Red Hat Enterprise Linux 5.x for x64 Red Hat Enterprise Linux 6.x for x64
プロセッサ	12 コア
プロセッサの速度	2.0 GHz
メモリ (RAM)	32 GB

設定またはコンポーネント	説明
ディスク容量	130 GB
ディスク入出力	100 メガ バイト/秒

毎秒 150,000 メトリック(大規模な展開)

設定またはコンポーネント	説明
オペレーティング システム	Red Hat Enterprise Linux 5.x for x64 Red Hat Enterprise Linux 6.x for x64
プロセッサ	24 コア
プロセッサの速度	2.5 GHz
メモリ	32 GB
ディスク容量	223 GB
ディスク入出力	100 メガ バイト/秒

## UTF-8 サポートの設定

UTF-8 エンコーディングをサポートするために、コンポーネントをインストールするコンピュータを設定します。UTF-8 エンコードが有効でない場合、文字がインストール中に正しく表示されない場合があります。

ローカライズされた展開をサポートするには、適切な言語パックも必要です。

**注:** 選択したコンポーネントのインストールで使用される一部のスクリプトはローカライズされておらず、実行画面は英語で表示されます。詳細については、ローカライズステータス *Readme* ファイルを参照してください。

次の手順に従ってください:

1. 以下の手順のいずれかを実行します。

- a. Korn または bash シェルから以下のコマンドを入力します。

```
export LANG=LANG_value ; export LC_ALL=$LANG
```

*LANG\_value*

製品のサポートに使用する言語の値を示します。以下の変数がサポートされています。

英語 : en\_US.utf8

フランス語 : fr\_FR.utf8

日本語 : ja\_JP.utf8

中国語 (簡体字) : zh\_CN.utf8

中国語 (繁体字) : zh\_TW.utf8

以下に例を示します。

```
export LANG=zh_TW.utf8 ; export LC_ALL=$LANG
```

- b. Bourne シェルから以下のコマンドを入力します。

```
LANG=LANG_value ; export LANG
```

```
LC_ALL=LANG_value ; export LC_ALL
```

以下に例を示します。

```
LANG=zh_CN ; export LANG
```

```
LC_ALL=zh_CN ; export LC_ALL
```

言語変数が設定されました。

## バージョンの互換性

CA Performance Center 2.4 は、CA NetQoS Performance Center バージョン 6.1 から派生したコードおよびユーザ インターフェースの設計機能を使用します。ただし、これら 2 つの製品は多くの点で異なっており、同じデータソースをサポートしません。

CA Performance Center は、以下の CA Technologies 製品と完全互換です。

- CA Infrastructure Management Data Aggregator
- CA Network Flow Analysis
- CA Application Delivery Analysis
- CA Unified Communications Monitor
- CA Spectrum
- CA Application Performance Management
- CA eHealth
- Anomaly Detector

サポートされているデータ ソース製品バージョンの最新リストを、CA サポート Web サイトの[製品ページ](#)で参照してください。

CA Performance Center ソフトウェアと共に自動的にインストールされる CA Event Manager データ ソースは、CA Performance Center 2.4 と互換性のある唯一のバージョンです。

一部の CA 製品は、まだ CA Performance Center 2.4 のサポートを提供していません。NetQoS Performance Center と互換性があっても、CA Performance Center のサポートは保証されません。

以下の製品バージョンについては、**CA NetQoS Performance Center** バージョン **6.1**（またはサービスパックを適用したバージョン 6.1）が必須です。

- CA Multi-Port Monitor 上の Transaction Insight Manager (TIM) (CA APM と CA Multi-Port Collector の統合)  
Multi-Port Monitor 上に TIM を展開する予定がある場合、NetQoS Performance Center 6.1 が必須です。これより新しいバージョンはサポートされていません。
- CA Application Delivery Analysis バージョン 9.2、9.3、10.0
- CA Unified Communications Monitor バージョン 3.6、3.7
- CA Application Performance Management バージョン 9.5
- CA SuperAgent バージョン 8.3、9.0、9.1
- CA NetVoyant バージョン 7.0、7.1
- CA Network Flow Analysis バージョン 9.2
- CA Unified Communications Monitor バージョン 3.0、3.1 および 3.2
- CA Anomaly Detector バージョン 2.1、2.2
- CA Spectrum バージョン 9.3、9.4
- CA Spectrum Infrastructure Manager r2.5 (NetQoS Performance Center 用の CA Catalyst Connector のバージョン 1 を含む)
- CA eHealth バージョン 6.3.0.05、6.3.1、6.3.2、6.3.2.01、6.3.2.02、6.3.2.05

アップグレード手順については、[CA サポート オンラインの Web サイト](#)を参照してください。同じサーバに複数の CA Technologies 製品をインストールしている場合、特定の順序で製品をアップグレードする必要があります。アップグレード手順には、考えられる複数の設定について詳細が記載されています。

## サポートされるデータソース インスタンスの最大数

CA Performance Center では、選択されたデータソースの複数インスタンスを管理できます。登録できる各タイプのデータソースの数には、以下の制限が適用されます。

- 10 CA Application Delivery Analysis データソース
- 1 CA Network Flow Analysis データソース
- 4 CA Unified Communications Monitor データソース
- 1 CA Application Performance Management データソース
- 1 CA Catalyst Connector データソース
- 1 イベント マネージャ データソース
- 1 CA Spectrum データソース
- 10 CA eHealth データソース (スタンドアロン CA eHealth システム、CA eHealth クラスタの場合は専用のフロントエンドシステム)

**重要:** データソースを追加すると、システムに大きな負荷を与えることがあります。データソースの複数インスタンスを追加したら、それらが監視する管理対象アイテムの概算値を記録しておきます。システムの合計負荷は、すべてのデータソースからの管理対象アイテムが 1,000,000 以下になるようにしてください。

## 言語サポート

CA Performance Center の現在のバージョンでは以下のロケールをサポートします。

- 英語（米国）
- 中国語（簡体字）
- 中国語（繁体字）
- 日本語
- フランス語（フランス）

その他の言語が今後サポートされる場合があります。いくつかの既知の問題は言語サポートに関連しています。たとえば、一部のデータソースはサポートされるすべての言語には翻訳されていません。詳細については、[CA Support Web サイト](#)の製品ページにある **Localization Status Readme** ファイルを参照してください。



# 第 3 章: アップグレード要件および考慮事項

Data Aggregator をアップグレードする場合は、以下の情報を確認します。

## サポートされているアップグレードパス

Data Aggregator の以前のリリースからアップグレードする場合は、ご使用のコンポーネントをアップグレードします。CA Performance Center、Data Aggregator、および Data Collector のコンポーネントは常にアップグレードする必要があります。以下の表で識別されたリリースにアップグレードしている場合、CA Infrastructure Manager Data Repository をアップグレードします。

**重要:** リリース 2.0.00 からリリース 2.3.4 にアップグレードする場合は、最初に、リリース 2.1.00 に、続けてリリース 2.2.x にアップグレードした後、リリース 2.3 にアップグレードします。

以下の表に、サポートされるアップグレードパスと、アップグレードが必要なコンポーネントを示します。

リリース	CA Performance Center コンポーネント	Data Aggregator コンポーネント	Data Collector コンポーネント	CA Infrastructure Manager Data Repository コンポーネント
リリース 2.0.00 からリリース 2.1.00	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードは不要
リリース 2.1.00 からリリース 2.2.00	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要
リリース 2.2.00 からリリース 2.2.1	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードは不要

リリース	CA Performance Center コンポーネント	Data Aggregator コンポーネント	Data Collector コンポーネント	CA Infrastructure Manager Data Repository コンポーネント
リリース 2.2.00/2.2.1 から 2.2.2	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要
リリース 2.2.[1、2、3] から 2.3.[0、1、2、3]	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードは不要
リリース 2.2.x から 2.3.4	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要 注: Vertica Release 7 はリリース 2.3.4 で導入されています。
リリース 2.3.[0、1、2、3] から 2.3.4	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要	アップグレードが必要 注: Vertica Release 7 はリリース 2.3.4 で導入されています。

注: Data Aggregator コンポーネントのアップグレードの詳細については、「Data Aggregator インストールガイド」を参照してください。2.3.x 以前のリリース用のアップグレード要件および考慮事項の詳細については、アップグレードしているリリースの「リリースノート」または「修正された問題」ファイルを参照してください。